

魅力ある快適空間

アーバンスクエアを創るアリサカ



## 会社説明会資料

平成18年3月期

H18年(2006年)6月



株式会社アリサカ

<http://www.arisaka.net/home.html>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。



## コンテンツ

### 独立系アミューズメント施設の運営会社として 九州から、そして全国へ

コンテンツ	P2	決算概要	
会社概要		貸借対照表	P17
会社概要	P4	損益計算書	P18
事業の沿革	P5	キャッシュフロー計算書	P19
事業内容		事業別売上高予実比較	P20
H18年3月までの状況	P7	H18年5月 月次売上状況	P21
年度別ゲーム市場の規模と店舗数	P8	有利子負債の推移見込み	P22
出店戦略	P9	整備投資、減価償却費の推移	P23
店舗の状況(平成18年3月現在)	P10		
H19年3月期の現時点で予定している店舗	P11		
事業別店舗数推移と見込み	P12		
H19/3期業績予想	P13		
今後の業績予想	P14		
積極的な利益還元	P15		



## 会社概要

---



## 会社概要

---

会社名	株式会社アリサカ 代表取締役 有坂 順三
設立	昭和51年10月9日
資本金	922,650千円
発行済株式数	4,265,600株
所在地	本社 宮崎市本郷北方2485-20
従業員	社員 130名 パート・アルバイト 597名 (平成18年3月末現在)

### 事業内容

- ゲーム施設の運営を主軸に、カラオケ、ボウリング、バッティング、スーパー銭湯等の各施設と他社テナントを含めた**複合アミューズメント施設**の運営



## 事業の沿革

---

- 昭和 53 年      ゲーム機械のレンタル業を開始
- 昭和 63 年      福岡市にゲーム・カラオケ店の直営1号店開設  
以後、ゲーム店舗を増設
- 平成 4 年      バッティングセンターを事業に加える
- 平成 6 年      ボウリングセンターを事業に加える
- 平成 10 年     スーパー銭湯を事業に加える

**あくまでゲーム事業が主力、他の事業部門はゲーム事業の集客目的として位置づけ**



## 事業内容

---

# H18年3月までの状況

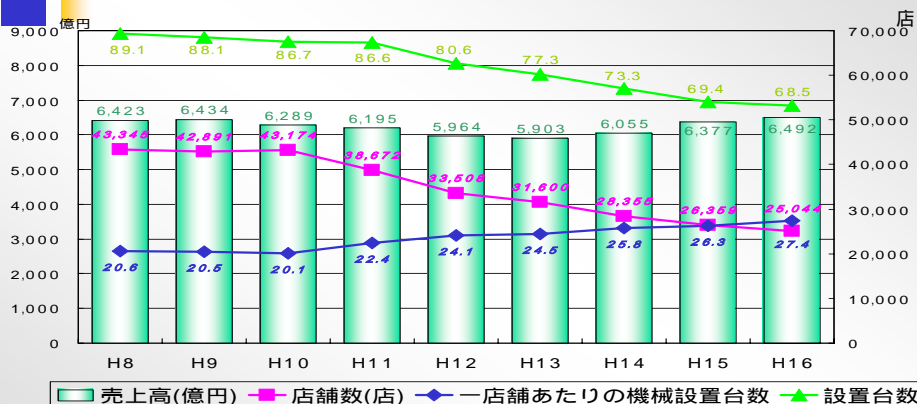
■ 出店

- H17年5月  
アーバンスクエア イオン宮崎SC店  
(宮崎県宮崎市)
- H17年7月  
アーバンスクエア佐世保店にボウリング場を併設  
(長崎県佐世保市)
- H17年10月  
アーバンスクエア 八代臨港店  
(熊本県八代市)
- H17年11月  
ジョイプラザ 佐賀店(ゲーム、ボウリング)  
(佐賀県佐賀郡)
- H17年12月  
ジョイプラザ 熱田店(ゲーム、ボウリング)  
(愛知県名古屋市)
- H17年12月  
アーバンスクエア 東長崎店(ゲーム)  
(長崎県長崎市)
- H17年12月  
アーバンスクエア 伊勢店(ゲーム)  
(三重県伊勢市)

■ 退店

- H17年6月  
アーバンスクエア 瓦町店  
(香川県高松市)
- H17年11月  
アーバンスクエア 草津駅前店  
(滋賀県草津市)
- H17年5月  
複合店舗内カラオケアーバン 八代店  
(熊本県八代市)
- H17年9月  
がらっば湯本郷店内の飲食部門を閉鎖  
(宮崎県宮崎市)
- H18年3月  
アーバンスクエア 宮崎駅前店  
(宮崎県宮崎市)
- H18年3月  
アーバンスクエア 小倉店 売却  
(福岡県北九州市)
- H18年3月  
アーバンスクエア 久留米店 売却  
(福岡県久留米市)
- H18年3月  
アーバンスクエア 熊本店 売却  
(熊本県熊本市)

# 年度別ゲーム市場の規模と店舗数



- 店舗数は平成8年度の4万3,174店から平成16年度には2万5,044店に大幅減少
  - 1店舗で100台を超える大型店舗が増加し、店舗の大型化傾向に拍車
  - スクラップアンドビルドが加速
  - 企業間格差がますます広がる傾向
- 淘汰が進み企業数、店舗数ともに減少予想**

資料出典 アミューズメント産業界の実態調査報告書から(毎年9月下旬に発行)

# 出店戦略

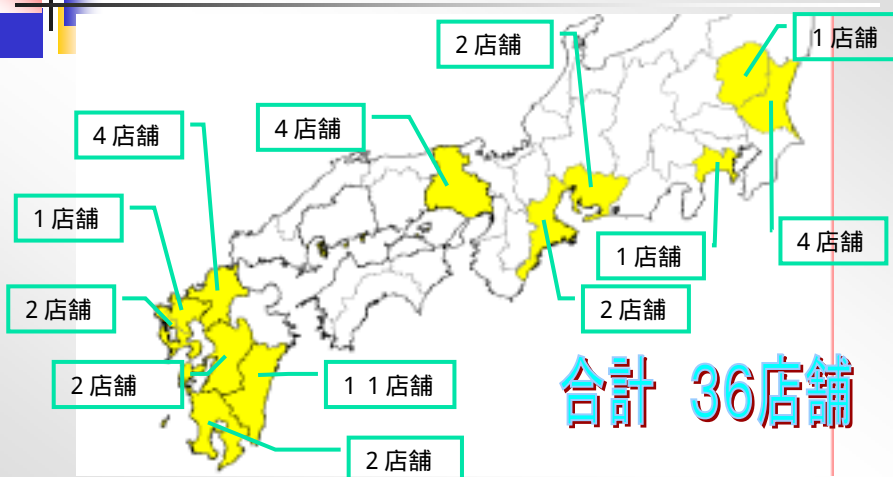
## ■ 出店方針

- 大型ゲーム単独店及びゲーム事業を主体にボウリング事業等の他事業との大型複合施設の開設を積極的に進める。
  - 年間6店舗前後の出店を計画
- 大都市圏への出店を推進
- 大型SCへの出店も積極的に検討する
- 新規大型店については、積極的に資産の流動化を検討する
- M & Aも積極的に検討し、業容拡大を図る
- 設備負担を抑えるため賃借方式による出店を基本とする
- スクラップ&ビルドにより事業の効率化を図る
  - 小型店等の不効率店及び不効率部門の閉鎖を実施

## ■ 投資回収年月

- ゲーム単独店・・・2年～3年以内
- 複合店・・・・・・・4年～5年以内

# 店舗の状況 (平成18年3月現在)

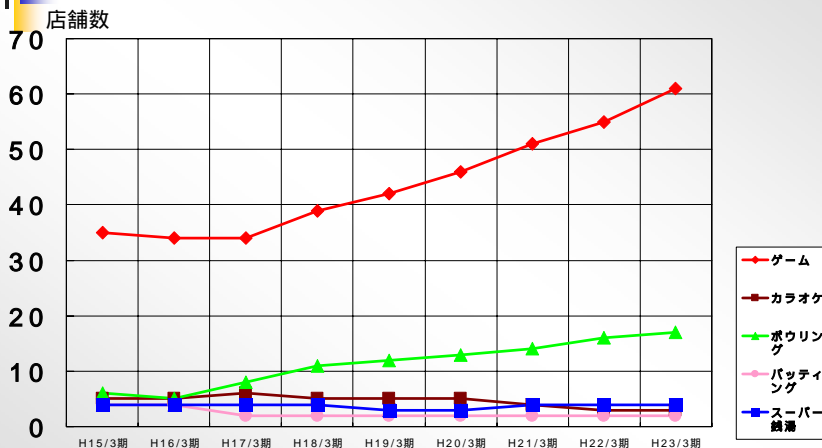


九州地区 複合店11店、単独店11店  
九州外地区 複合店5店、単独店9店

## H19年3月期の現時点で予定している店舗

2006年8月	三重県三重郡	複合施設（ゲーム、スポーツアミューズメント、他） 店舗面積 約2,270坪 年間売上見込み 約5億円
2006年9月	福岡県北九州市	複合施設（ゲーム、ボウリング、フットサル、他） 店舗面積 約3,750坪 年間売上見込み 約6億円
2006年11月	千葉県柏市	ゲーム単独店（大型ショッピングモール「ららぽーと柏の葉」 （店舗数170店舗）内） 店舗面積 約450坪 年間売上見込み 約6億円
2007年3月	茨城県龍ヶ崎市	複合施設（ゲーム、ボウリング、他） 店舗面積 約1,280坪 年間売上見込み 約6億円

## 事業別店舗数推移と見込み



- H16年3月期から不効率店の積極的なスクラップを行う。

# H19/3期 業績予想

	H18/3期	H19/3期 予想	前期比増加率
売上高	8,548百万円	9,350百万円	9.4%
営業利益	570百万円	577百万円	1.2%
経常利益	424百万円	435百万円	2.6%
当期純利益	170百万円	134百万円	-21.2%
発行済株式数(自己株含む)	4,265,600株	8,531,200株	100.0%
E P S	39.9円	15.8円	-60.4%
R O E	6.6%	5.2%	-21.4%
R O A	1.3%	0.9%	-28.2%
自己資本比率	18.7%	17.4%	-7.1%
年間配当	25.00円	15.00円	-
配当性向	62.4%	94.9%	52.1%

< 計画策定の前提条件 >

当期開設店の売上見込み + 1,532百万円

前年開設店の通年効果 + 935百万円

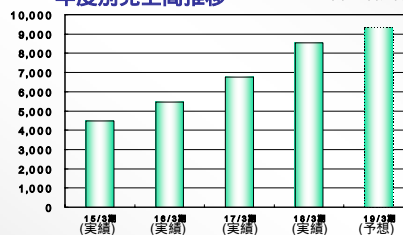
閉鎖店舗の売上減少 769百万円

既存店売上高の前期比計画 89.8%

(H18/3期実績104.0%)

年度別売上高推移

単位：百万円

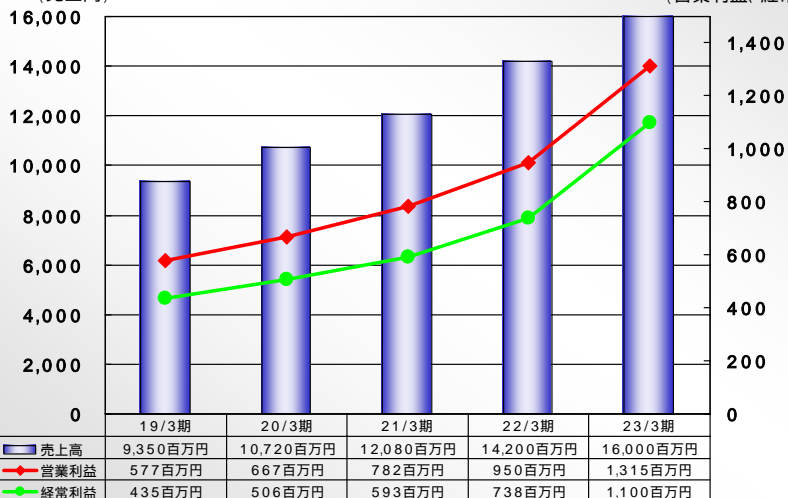


# 今後の業績予想

(単位：百万円)

(売上高)

(営業利益、経常利益)





## 積極的な利益還元

---

H14年10月	株式公開
H15年9月	5円の上場記念中間増配発表(年間1株当たり配当25円)
H16年1月	株主優待制度新設の発表
H16年5月	年間 1株当たり配当25円を決定
H16年5月	1 : 1.2の株式分割を実施(年間 1株当たり配当25円を据置)
H16年11月	1 : 1.2の株式分割を実施(年間 1株当たり配当25円を据置)
H17年2月	17年3月末の株主に対し、5月増配を発表
H18年2月	1 : 2の株式分割を発表
H18年5月	18年3月末の株主に対し、年間2円50銭の増配を発表



## 決算概要

---

# 貸借対照表

(単位：千円、%)

	前期末 H17/3月期	当期末 H18/3月期	増減額	前期比		前期末 H17/3月期	当期末 H18/3月期	増減額	前期比
<b>資産の部</b>					<b>負債の部</b>				
流動資産	1,375,239	1,973,466	598,226	143.5	流動負債	3,312,627	3,772,175	459,548	113.9
固定資産	10,532,272	12,015,625	1,483,352	114.1	固定負債	6,052,639	7,599,537	1,546,897	125.6
有形固定資産	9,369,490	10,703,007	1,333,516	114.2	負債合計	9,365,267	11,371,712	2,006,445	121.4
無形固定資産	83,581	113,416	29,834	135.7	<b>資本の部</b>				
投資その他の資産	1,079,200	1,199,202	120,001	111.1	資本金	922,650	922,650	0	100.0
繰延資産	11,720	3,126	-8,593	26.7	資本剰余金	920,070	920,070	0	100.0
					利益剰余金	705,899	748,615	42,715	106.1
					その他有価証券 評価差額金	14,509	41,356	26,846	285.0
					自己株式	-9,164	-12,186	-3,022	-
					資本合計	2,553,965	2,620,505	66,540	102.6
資産合計	11,919,232	13,992,218	2,072,986	117.4	負債・資本合計	11,919,232	13,992,218	2,072,986	117.4
					1株当たり純資産額	600.15	616.19	16.04	102.7

現金預金の増加 275百万円 棚卸資産の増加 94百万円  
売掛金の増加 103百万円 未収入金の増加 79百万円

出店及び既存店のリニューアル  
その他による設備の増加 3,170百万円  
減価償却費及び除売却等による減少  
1,836百万円

M & Aによる営業権の増加額 57百万円  
営業権の償却額 27百万円

差入保証金・敷金の新規増加 328百万円  
差入保証金・敷金等の返却 202百万円

1年以内の長期借入金の増加 353百万円  
短期借入金の増加 101百万円  
未払費用の増加 70百万円  
未払法人税等の増加 54百万円  
1年以内の割賦債務の減少 150百万円  
未払金の減少 64百万円

長期借入金の増加 1,912百万円  
割賦債務の減少 315百万円  
無担保社債の減少 60百万円

有価証券評価差額金による増加 26百万円  
未処分利益剰余金の増加 42百万円

# 損益計算書

(単位：千円、%)

	前 期 末 H 1 7 / 3 期	当 期 末 H 1 8 / 3 期	前期比 (%)	H 1 8 / 3 期 計	H 1 8 / 3 期 計 画	H 1 9 / 3 期 計 画 予 想
売上高	6,762,171	8,548,220	126.4	8,100,000	105.3	9,350,000
売上原価	5,587,396	7,430,893	133.0	6,746,400	110.2	8,094,300
売上総利益	1,174,775	1,117,327	95.1	1,353,600	82.5	1,255,700
販売費及び 一般管理費	519,422	547,008	105.3	601,600	90.9	678,400
営業利益	655,352	570,318	87.0	752,000	75.8	577,300
営業外収益	111,256	234,394	210.7	119,700	195.8	194,000
営業外費用	345,259	380,296	110.1	390,500	97.4	336,300
経常利益	421,349	424,416	100.7	481,200	88.2	435,000
当期純利益	91,695	170,366	185.8	239,105	71.3	134,880

売上高の内訳  
店舗売上高 8,163百万円(前期比24.2%増)  
機器売上高 384百万円(前期比102.2%増)

売上原価の内訳  
仕入原価 421百万円  
店舗原価 6,877百万円  
機器仕入・除売却原価131百万円

販売費及び一般管理費の内訳  
保険料、支払手数料の増加 8百万円  
水道光熱費、旅費交通費、報酬、租税公課、  
消耗備品費、減価償却費等の増加 28百万円  
人件費の減少 9百万円

営業外収益の内訳  
雑収入の増加(営業保証金、協賛金他) 116百万円  
受取手数料の増加 19百万円  
受取地代家賃の減少 13百万円

営業外費用の内訳  
支払利息の増加 26百万円  
その他営業外費用の増加 23百万円  
受取地代家賃に対応する原価の減少 12百万円

特別損失の内容  
不効率店舗の閉鎖(除却損) 109百万円  
店舗閉鎖費用 9百万円

# キャッシュフロー計算書

単位：百万	前期		増減額
	H17年3月末現在	H18年3月末現在	
営業活動によるキャッシュ・フロー	998	1,869	871
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,211	3,448	1,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,402	1,772	370
現金及び現金同等物の増減額	188	193	4
現金及び現金同等物の期首残高	414	602	188
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	51	51
現金及び現金同等物の期末残高	602	847	244

非資金費用	税引前純利益の増加	135百万円	売上債権の増加による減少	103百万円
	減価償却費の増加	846百万円	法人税等の支払額の増加	143百万円
	店舗閉鎖等による			
	有形固定資産除却損の減少	129百万円		

新規出店・既存店舗のリニューアル・機器購入に伴う有形固定資産の取得による資金使用の増加	1,100百万円
M & Aによる支出及び敷金・差入保証金等の支出等による資金の使用の増加	288百万円
敷金・差入保証金等の回収による収入の増加	171百万円

設備資金としての長期借入金の純増減額	860百万円
短期借入金の増加	54百万円
設備等の割賦債務の支払の増加	7百万円
前期に新株発行により増加した増資額の当期収入の減少	565百万円
配当金の支払額の増加	61百万円

# 事業別売上高予実比較

平成18年3月期 売上高比較

(単位:百万、%)

事業別	前期実績	当期実績	実績比	計画	計画比	既存店計画	既存店実績	既存店計画比
ゲーム事業	5,633	7,165	127.2	7,023	102.0	3,455	3,827	110.8
ホウリング事業	482	617	128.0	584	105.6	293	307	104.9
スーパ-銭湯事業	250	224	89.7	233	96.4	233	224	96.4
かたがた事業	83	66	79.4	56	117.6	49	61	125.5
パ-ティンク事業	32	25	79.3	37	69.6	23	25	108.1
その他の事業	278	448	160.8	164	272.1	121	420	345.3
合計	6,762	8,548	126.4	8,100	105.5	4,176	4,867	116.5

その他の事業には、機器売上を含んでおります。

平成18年3月期 既存店月次売上高の前年比較

単位：%

事業別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
ゲーム事業	90	90	95	101	101	113	98	109	111	90	102	113	102
ホウリング事業	101	91	87	94	96	84	87	84	82	99	100	94	95
スーパ-銭湯事業	94	93	94	92	87	92	84	84	93	86	88	90	90
かたがた事業	82	77	75	79	79	75	78	91	88	93	96	88	86
パ-ティンク事業	111	92	98	111	104	87	100	99	89	93	88	92	97
その他の事業	37	37	67	90	689	4,179	509	555	42	282	69	56	178
合計	89	89	94	99	108	139	101	111	106	95	101	97	104

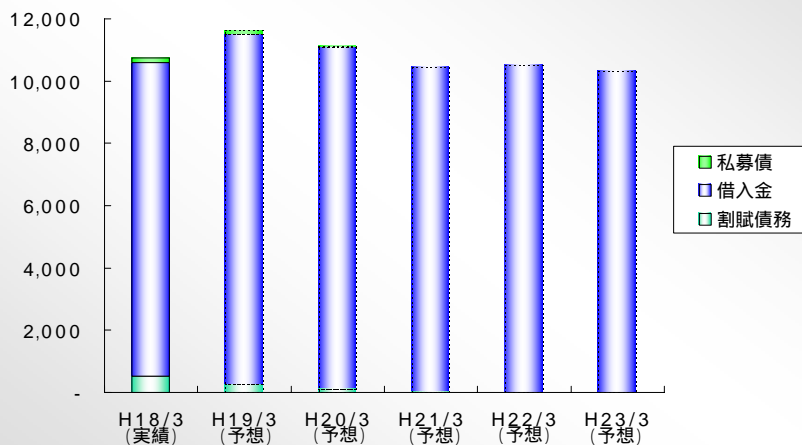
# H18年5月 月次売上状況

	前年同月比								
	4月	5月	6月	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期	上半期
既存店舗	92.0%	110.6%							
全店舗	116.3%	130.0%							
店舗数	36店舗	36店舗							

	前年同月比								
	4月	5月	6月	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期	上半期
ゲーム事業	93.0%	114.4%							
ホウリング事業	88.8%	91.6%							
銭湯事業	92.9%	90.8%							
加竹事業	91.7%	85.0%							
ハウジング事業	95.2%	91.3%							
その他の事業	58.9%	110.9%							

# 有利子負債の推移見込み

単位：百万円





## 設備投資、減価償却費の推移

